Ⅲ-2 Excel2010データ抽出の操作手順

抽出プログラムの機能:

指標値型データの抜き出しプログラムは、Excelシート上にある項目一覧表の各項目の抜き出し指示にしたがってデータを抜き出します。抜き出しは RID項目の指定、データセルの指定、レコード数の指定が可能です。

Excel-VBAで作成しています(Microsoft社のExcelが必要(WindowsXP Excel2010で動作確認を行っております。))。

手順概要:

Excelを起動したのちに抽出用プログラムを開いてください。プログラム 名は町丁・字等別その3の場合は「SELH22KK3S(EXCEL2010).xlsm」に なります。

プログラム起動後の処理は、次の2つのステップに分かれています。

- 1 . Excel シートの項目一覧表上に抜き出しの指示をする。
 - 抜き出したい項目に*を入れる。
- 2.抜き出し元となるファイル、抽出済み結果の保存先、最大レコード 数を指示し、実行する。

補足:

町丁字等別集計は集計値のほかに次の情報が付加されています。この情報 はRID項目に記録されています。

秘匿情報

町丁字等別集計は秘匿措置がされている。秘匿情報は秘匿地域の町丁字 等コードであり、秘匿先、秘匿元の2種類の意味合いがある。秘匿につい てはこの説明書の最後の項を参照のこと。

(2) 町丁字等名称

漢字の町丁字等名称を記録している。

操作手順:

1.抽出プログラムを起動し、「SELH22KK3S(EXCEL2010).xlsm」をExcel に読み込む。



下記が表示された場合は、信頼済みのドキュメントとして、「はい」をクリック する。



2.最初の画面で「データからの抜き出し」をクリックする。 クリックすると集計別の項目選択Excel シートが表示される。



3. Excelシート上に必要事項を記入(キーイン)する。

(1) RIDの選択

ファイルIDから合算地域までの項目のうち、抜き出したい項目には、第1 列目(A列)に*(全角、半角いずれでもOK)を入れる。また、第3列目(C列) 以降の列に抜き出し対象となるデータのコードを記述する。複数ある場合は 第4列目(D列)、第5列目(E列)と順次記述する。

(2) 集計数値項目の選択

抜き出したい項目には、第1列目(A列)に*(全角、半角いずれでもOK)を 入れる。



町丁字等別集計には、秘匿が含まれている。

(ファイルの集計項目は次の画面で表示される。ドキュメントでは項目一覧表を参照してください。)

4.指標値型CSVファイル等の必要事項を指定する。

抜き出し先EXCELファイルの拡張子は「.xlsx」(EXCEL2007以降のファイ ル保存形式)としている。



「実行」ボタンをクリックして抽出を開始させる。 抽出が終了したら「もどる」ボタンをクリックする。 利用上の留意点

(1) 秘匿について:

平成22年町丁・字等別集計での秘匿は、人口または世帯数が極めて少な い地域の集計結果を秘匿する。すなわち、秘匿対象となる地域は全ての集計 表において秘匿される。秘匿されたデータは一定の手順に基づいて他の地域 (町丁・字等別の場合、原則は直前の地域)に足し上げられ、どこからどこ へ足し上げられたのかの情報はCSVデータの秘匿区分、及び秘匿・合算符号 に記録している。

(2) 集計データについて: 該当数値なしは「-」、秘匿され隠されたデータは「X」としている。